

## 委員交流・意見交換会

9月17日(水) テーマ 本音でかたる地域づくり

地域の会長職は男性であるのが慣習になっているが、今は男女共同参画社会なのだから意欲と能力がある人を選出すべきだ!という内容の朗読劇をした後、グループディスカッションで男女共同参画が広がるためには“家庭の中からの意識づけ”が大事だと話し合いました。依然として、家庭ではまだまだ昔の家父長制の名残があり、それは容易ではないと思わ



れますが、最近は家事や育児を分担されている家庭も多く、男女共同参画は徐々にではありますが、浸透していくような期待感があります。

能古校区 丸尾 ひろみ

1月14日(水) テーマ 私にできる一歩(本音でかたる地域づくり)

はじめに愛宕校区の角敏秀さんより「日本女性会議2014札幌」の報告がありました。次に6班に分かれ、西区男女共同参画フェスティバルに各校区より出展されたパネルを使って、それぞれの行事や活動について話し合いました。

各校区はメンズクッキング、ワールドカフェ、コンサート、講演会、研修会等を企画し、参加者を募り、啓発を行っていました。今後も行事や活動に積極的に参加し、自分自身の意識を変えていくこと、一人ひとりの力を発揮していくことが大切であると実感しました。

吉岐校区 安心院 眞由美



### 編集後記

男女共同参画を地域にすすめる為に、各校区委員さんは悩みながら、考え、そして実行していった1年間。「なぎさ」のどの記事にも、どの校区のパネルにも現れています。ますますのご活躍をお祈りします!

お問い合わせ

西区男女共同参画をすすめる会事務局 (西区総務部振興課内)  
〒819-8501 福岡市西区内浜1丁目4-1  
TEL 092-895-7033 FAX 092-882-2137 メール shinko.NWO@city.fukuoka.lg.jp

# なぎさ

第48号

2015.3



あなたと輪を広げたい

かたり合い、笑顔でつなぐ 地域の輪

(平成26年度 西区男女共同参画をすすめる会 年間テーマ)

編集 西区男女共同参画をすすめる会 発行 西区地域活動推進会

## 西区男女共同参画フェスティバル2014

### フェスティバル2014によせて

11月29日に行われた男女共同参画フェスティバルに多数ご参加いただきありがとうございました。

第1部の防災DVDでは、東日本大震災の実体験をもとに、避難所のあり方に、女性の視点が入らないと男女ともに不具合が生じる事を考えさせられました。

第2部のパネルディスカッションでは、コーディネーターの江藤さんの進行でパネリストの方々現在の現在・過去・未来が三者三様に語られ、とても有意義なディスカッションでした。ジュニアリーダーの本田さんの「何で男女の区別があるのか?男女を問わず出来る人が、出来る事をやればいいのか?」という言葉に、明るい未来を感じました。

近い将来“男女参画”から、男女ではなく“人間参画”となる日も夢ではないと思える気がした内容でした。残念なのは、もっと多くの方に「来て、見て、聞いて!」そして感じてほしかった事です。

会長 山岡 三重子



### パネルディスカッション

テーマ 『地域でのリーダーとしての思いについて』

#### パネリスト

福岡市自治協議会等7区会長 副会長	平山 清子
(博多区自治協議会長連絡協議会 会長)	
西区老人クラブ連合会 吉岐校区女性部長	高木千鶴子
内浜公民館 館長	渡邊 彰
西区子ども会育成連合会 ジュニアリーダー(高校生)	本田さくら
西区男女共同参画をすすめる会 愛宕校区委員	角 敏秀
福重校区委員	松尾 裕美

#### コーディネーター

福岡市男女共同参画推進サポーター 江藤 淑子

### 感想 (アンケートより1部抜粋)

- 女性の意識改革は賛同します。地域で違いはあるが、女性がまず参画しようという気持ちになるよう活動していきたいと思いました。
- 少しずつ意識づけをしていきたいと思いました。家庭を大切にしていると地域活動もできると思います。

## 西区男女共同参画推進奨励賞

西区男女共同参画推進奨励賞は、地域で男女共同参画を実践・推進し、地域の男女共同参画社会の形成に貢献している個人や団体に対し、西区が表彰を行っているものです。今年度は4人と1団体が受賞されましたので紹介します。

### 受賞者一覧 (敬称略)

吉田 真澄(内浜校区) 田嶋 悦子(吉岐東校区)  
小山田 敏子(北崎校区) 森下 多美子(周船寺校区)  
姪浜校区男女共同参画をすすめる会





# DVD「安心できる避難所づくり ～男女共同参画の視点を避難所運営に～」

災害発生から3～4日後の避難所づくり・運営のポイントが男女共同参画の視点からまとめられたDVDを上映しました。女性に優しい避難所は多様な人たちにとっても安心できる避難所につながることを考えるきっかけになりました。

DVDは西区振興課で貸出を行っており、校区での研修にも活用されています。

企画・編集 青森県男女共同参画センター  
製作 あおもり被災地の地域コミュニティ再生支援事業実行委員会

## 感想 (アンケートより1部抜粋)

- 活動内容が具体的で大変わかりやすい。いろんな場面で女性がかかることで視点が変わり、少しでも被災者の負担を軽くすることの大切さがわかった。
- 男女それぞれの意見を取り上げ、災害に備えて組織作りをしていく事が大切と思いました。

## パネル展示

フェスティバル当日、各校区活動のパネルが展示され、取り組みがイイね!と思った校区にシールを貼ってもらいました。シール獲得枚数が1番多かったのは吉岐校区でした。



# 日本女性会議2014 札幌

～未来の景色は、わたしたちが変える。～

2014年10月17日～18日



札幌で開催された日本女性会議に初めて参加しました。基調報告や分科会、特別講演等は各分野で、性別に関係なく誰もが活躍できる「男女共同参画社会」の実現に向けて発信し、行動を起こしている姿を実感することができました。

北海道大学の学生はアルバイト体験から大学生の労働環境改善に力を注ぎ、7人で労働組合「札幌学生ユニオン」を立ち上げたそうです。若い世代の活躍を知り、未来の日本は男性も女性も暮らしやすい社会になると確信しました。

特別講演は、札幌交響楽団コンサートマスター 大平まゆみさん(ヴァイオリニスト)とソウル五輪銅メダリスト 山口香さん(柔道家)でした。2人もほとんどが男性だけの世界を切り開き、結婚、出産、育児を経験されました。女性の問題は男性と一緒に考えていかなければ変わらないとの話に同感しました。

また、日本女性会議実行委員長 林美枝子さんは、「個人の問題は社会の問題、共有共感することが男女共同参画につながる」と話され、個人の経験を語ることが議論を深める第一歩になると感じました。様々な世代や立場の方々が集い、学び合える大会でした。

内浜校区 萩原 香代子



## 校区の取り組み紹介

### 玄界校区

玄界校区では、10月25日(土)アミカスにおいて福岡西方沖地震の体験発表をしました。会場には多くの方々がお越しになり、自然災害に対する恐怖に関心が集まったのではないかと思います。

平成17年3月20日10時53分地震発生。震度6弱の想定外の地震、島の姿は一変し、生命に関わることが一瞬にしておこる自然災害の恐怖に、現実か、夢か何か、地震だとは到底考えられませんでした。漁の最盛期で男性はおらず、島に残っているのは老人、女性と子どものみでした。しかし、日頃の防災意識が高く、島全体の人々を把握しているため、避難場所に誰が来ていないかわかり、人的被害はありませんでした。男性がいない間は「島を守るのは、女性の役割」。自己意識と相互の強さだと思います。将来にわたって「安全」「安心」のまちづくりを進めるには、被災で得た体験を風化させず、いつまでも記憶にとどめ、さらに次世代に継承する事が大切だと思います。

「思いやり」「ありがとう」のある生活、人と人が温かい心でつながり、男女が共に支えあい、地域のふれあい、つながりを大切にして、明るく楽しい島づくりをめざしていきたいです。

玄界校区 細江 みすよ

